

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名（ 発生医学研究所 ）

<p>目標1: 男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 発生医学研究所では、独自の研究支援事業を行っており、『育児・介護期間中の研究支援』事業においては対象者を大学院生にまで拡大し、育児・介護と就学を両立できる環境の整備に取り組んでいる。平成30年度は公募を行ったが、大学院生の応募者がいなかった。
<p>目標2: 男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 発生医学研究所では、2008年7月29日に男女共同参画推進に係る事業実施に関する申し合わせを定めて、工夫及び改善を重ねながら、「男女共同参画推進事業」を継続して行っている。平成30年度は、前期公募(2018年9月28日(金)締切)及び後期公募(2018年12月27日(木)締切)の計2回の公募を実施し、男女延べ9名の申請者に「育児・介護期間中の研究支援」に関する助成を行った。 発生医学研究所 HP において、上記の「男女共同参画推進事業」の公募・採択情報のほか、女性教職員の割合(統計データ)及び授乳室等設備の最新情報を掲載している(http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/danjo/)。
<p>目標3: 男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 発生医学研究所では、毎年、八代中学からの研究所見学を受け入れており、本年度も2018年6月16日(金)に実施した。当日は若手教員(男性教員1名、女性教員1名)による講義も行った。 熊本大学医学部主催の学園祭『本九祭』において、発生医学研究所では、展示発表や研究室ツアーを行った(2018年9月16日(日))。その際に、男性教員も女性教員も積極的に参加し、来場者の方への研究紹介や進路相談等にも対応した。
<p>目標4: 次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 発生医学研究所が中心となり、年に1～2回のペースで近場の人たちで緩やかな繋がりを維持し、問題や悩み事を共有することを目的に集まっている。本荘地区の研究に関わる教職員及び学生が参加し、悩み事の相談や情報交換を行っている。今年度もランチ会(2018年6月20日(水))を実施した。
<p>その他: 目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 男女共に休憩できるスペースを確保するため、発生医学研究所内に新たに『休憩室』の設置を行った。ベッド2台を常設しており、一時的な体調不良時に使用できる。また、以前より設置していた『授乳室』に新たにロッカー等も配備し、更衣室としても利用できるように変更した。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局名(生命資源研究・支援センター)

<p>目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</p>
<p>男女の卒業生が大学に訪問し、キャリアパスについて助言を受けている。</p>
<p>目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況に合わせた研究計画の立案と助言をおこなっている。 ・関係学会及び研究会などへの参加を促進している
<p>目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代リーダー育成プログラムである HIGO プログラムへの参加を積極的に進めている。(H30 年度：1名) ・地域貢献の目的で主催している体験講座で、男女共に講師を務めるようにしている。また、参加者に熊本大学の男女共同参画への取り組みを紹介している。 ・放射線に関する基礎知識啓発のための講師などへの参加を促進している。
<p>目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育体制や人材育成に積極的に取り組み、男女の区別なく活躍できる環境の整備に努めている。 ・放射線安全管理に関する国家資格等が取得できるような職場での支援体制を促進している。 ・育児介護休業を取得しやすい環境づくりを行なっている。(H30 年度育児休暇取得：1名) ・妊婦の方などが臥床できる休憩室を設置し運用している。
<p>その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共に、ライフスタイルや社会構造の変化に対する情報を共有することにより協力的な関係を構築することに努めている。